

## 議題（3）西尾市地域公共交通計画の改正について

### 1 改正の経緯

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正により、乗合バス等が国庫補助金を受けるためには、地域公共交通計画に位置付けることが交付要件となった。西尾市内を運行する補助対象系統のうち、岡崎・西尾線及びふれんどバスは今年度策定予定の愛知県地域公共交通計画に位置付けされるが、一色線については位置付けされないため、西尾市地域公共交通計画に位置付ける必要がある。

なお、計画本体とは別に、計画の「別紙」を毎年度作成する必要があるため、別紙については議題（4）にて協議する。

### 2 改正内容

別紙（案）のとおり

### 3 改正予定日

令和6年5月27日

### 6-3 目標指標の設定

基本方針と目標の達成を具体的に評価するための目標指標を次のように設定します。

目標指標を達成するためには、効果的に「7 実施する事業」を実施することが必要になります。

#### (1) 目標指標設定の基本的な考え方

##### ① 定量的な指標

前計画においては、アンケート調査結果を指標としていましたが、市民の意識は変化し一定の基準で評価することが難しいことから、市民意識の変化によらない定量的な指標とします。

##### ② 目標達成による効果となる指標

目標を達成することによって効果として発現し、広く市民、公共交通利用者等にわかりやすい指標とします。

#### (2) 目標指標の設定

##### 《基本方針①「相互に連携し利用しやすい公共交通ネットワークの形成」の目標指標》

- |       |                       |
|-------|-----------------------|
| 目標①-1 | 鉄道の維持・活性化             |
| 目標①-2 | ニーズに対応した公共交通ネットワークの充実 |
| 目標①-3 | 次世代に向けた取り組みの推進        |

これらの目標の達成により公共交通の利用者数は増加すると考え、各交通機関の年間利用者数を目標指標に設定します。

##### ■ 目標指標

(年度別の目標指標は参考資料・資料1を参照)

		現在値 (R2 年度)	目標設定	データ取得方法	R9年度 目標値
年間 利用 者 数	名鉄西尾・蒲郡線	2,595 千人	協議会目標値※1	運行事業者保有の 乗降データにより 毎年計測	3,409 千人
	名鉄東部交通バス ※2	321 千人	新型コロナ前(R1)の 90%		330 千人
	ふれんどバス※2	242 千人	新型コロナ前(R1)の 90%		270 千人
	六万石くるりんバス	162 千人	毎年3%増加		198 千人
	いっちゃんバス	2,724 人	1 便平均3人以上		7,500 人
	いこまいかー	3,125 人	毎年 10%増加※3		6,000 人
	佐久島渡船	186 千人	新型コロナ前の平均 250 千人を維持		250 千人

※1 名鉄西尾・蒲郡線活性化協議会の目標値は令和7年度のため、令和9年度の目標が公表された段階で修正する。

※2 名鉄東部交通バス、ふれんどバスの年度は前年10月～当該年9月。その他は、当該年4月～翌年3月。名鉄東部交通バスの現在値は、廃止となった平坂中畑線と寺津線を除く。

※3 いこまいかーの目標値は交通事業者へのヒアリングをもとに設定しているが、需要に対する供給可能性を検証しながら評価を行う。

## 《基本方針②「交流と活性化を推進」の目標指標》

- 目標②-1 公共交通をしやすい仕組みの整備  
 目標②-2 観光利用の促進、まちづくりとの連携強化

これらの目標の達成により観光利用者数は増加すると考え、市のバス及び渡船の観光利用者数を目標指標に設定します。

バスの観光利用者数は年間の土休日利用者数とします。

### ■目標指標

(年度別の目標指標は参考資料・資料1を参照)

	現在値 (R2年度)	目標設定	データ取得 方法	R9年度目標 値
六万石くるりんバス、いっちゃんバスの 年間の土休日利用者数	43,156人	毎年3%増加	運行事業者 保有の乗降 データにより 毎年計測	54千人
佐久島渡船の年間の観光利用者数	74,961人	新型コロナウイルス 感染症前の 水準		100千人

## 《基本方針③「持続可能な公共交通の確保」の目標指標》

- 目標③-1 公共交通の魅力発信と情報提供  
 目標③-2 地域で支える仕組みの継続

公共交通の魅力発信と情報提供が進めば、利用者数が増加し収支率の増加が見込まれます。

地域で支える仕組みを継続できれば、効果的、効率的な運行の見直しと利用者を確保することができ、収支率のアップが期待されます。また、現行の公共交通ネットワークを維持するため、市の公共交通費用負担額についても維持することが期待されます。

このため、収支率と市の公共交通費用負担額を目標指標に設定します。

### ■目標指標

(年度別の目標指標は参考資料・資料1を参照)

	現在値 (R2年度)	目標設定	データ取得 方法	R9年度目標 値
六万石くるりん バスの収支率※	6.0%	毎年3%増加※	事業者から報告される運賃収入及び委託料請求額等の資料から毎年算出	7.4%
いっちゃんバスの収支率※	0.8%	1便平均3人以上		2.1%
市の公共交通費用負担額	440百万円/年	現状維持	コミュニティバス及びいこまいかの委託料、路線バスの運行補助金、名鉄西尾・蒲郡線運行負担金の合計により毎年算出	440百万円/年

※運行経費は維持と想定し、基本方針①の目標指標である六万石くるりんバス、いっちゃんバスの年間利用者数の目標指標をもとに設定。

## 6-4 公共交通ネットワークの形成方針

### (1) ネットワーク再構築の基本的な考え方

ネットワークを構成する路線の機能別階層を設定し、その階層ごとに必要とされるサービスを提供します。

鉄道・バス・いこまいかー・タクシー・渡船の各公共交通が、路線や運行ダイヤ等のサービスで連携することにより、利用しやすく便利な公共交通ネットワークをつくります。

### (2) ネットワークを構成する路線・サービスの位置づけ、役割及び実施主体

次のように3つの機能別階層を設定します。

#### A：幹線

##### 名鉄西尾線・蒲郡線、名鉄東部交通バス、ふれんどバス、渡船

本市における基幹的公共交通（市外、市内地域間の移動）です。交通事業者、西尾市が主体となり、市民と協力して運行を確保します。

鉄道・バスについては、1時間に1便以上の運行本数の確保を目指し、主要な結節点では乗継利便性を確保するなど、市民や観光客が移動しやすい環境を目指します。渡船は、バスとの接続を強化します。

#### B：準幹線

##### 六万石くるりんバス、いっちゃんバス

幹線に接続し、地域内移動を担う公共交通です。

西尾市が運営主体ですが、地区協議会との連携による運営を含みます。

利用実態に対応した持続可能な運行とするため最低維持基準を設定し、毎年、達成状況を確認し、必要に応じて改善します。

#### C：支線

##### いこまいかー、タクシー

幹線・準幹線で対応できない地域等にサービスする公共交通です。市民の暮らしに必要な移動手段として、いこまいかー及びタクシーによる移動を確保します。

いこまいかーは、自宅と小学校区内の拠点的なバス停等までの移動に利用できます。

タクシーは、運行の機動性、柔軟性に優れた地域公共交通としての特性を活かしてサービスの提供を行います。

《路線・サービスの位置づけ、役割及び実施主体》

位置づけ・役割		サービス水準	実施主体等	該当する現行路線
A 幹線	○市外への広域移動 ○市内の地域間移動	○通勤、通学、買い物、通院、公共施設利用、業務、観光等の幅広い目的に対応。 ○鉄道・バスは、朝夕ピーク時は30分～1時間、昼間と夜間は1時間に1便程度以上運行。 ○通勤・通学に対応するため、鉄道の運行時間帯を踏まえた運行時間帯の確保。	○交通事業者あるいは西尾市が運営。 ○民間事業者の場合もネットワーク形成上、重要な路線のため、行政による支援を実施。	○名鉄西尾線・蒲郡線 ○名鉄東部交通バス 岡崎西尾線 一色線（活用補助事業：幹線補助、詳細は下別表に記載） ○ふれんどバス ○渡船
	B 準幹線	○主に昼間時間帯の買い物、通院、公共施設利用、観光等の目的に応じたサービスを確保。 ○1時間に1便程度。 ○生活交通確保の観点から、朝夕の通勤・通学時間帯は、幹線を補完する範囲内でのサービスを確保。	○西尾市が運営。 ○地区協議会と西尾市との協働による運営を含む。	○六万石くるりんバス ○いっちゃんバス
C 支線	○上記でサービスできない公共交通空白地等の移動	○主に昼間の買い物、通院、公共施設利用等の目的に対応し、需要に応じた運行サービスを確保。タクシーは観光利用にも対応。 ○ドア・ツー・ドアで多目的に利用できる。 ○いこまいカーは朝から夕方までの運行。 ○タクシーは24時間運行。	○西尾市	○いこまいカー
			○交通事業者	○タクシー

《名鉄東部交通バス一色線に係る表》

系統名	起点	経由地	終点	事業許可区分	運行様態	実施主体	補助事業の活用
一色	西尾 西尾市民病院	福地	一色町公民館	4条乗合	路線定期運行	交通事業者 [名鉄東部交通(株)]	幹線補助

(3) ネットワークの必要性、目標

名鉄東部交通バス、ふれんどバス、渡船の幹線系統については、本市における骨格の公共交通として市外及び市内地域間の連絡を担うことから、ネットワーク及びサービス水準を維持・向上することが必要であり、その実現を目標とします。

特に、名鉄東部交通バス（一色線）については、鉄道路線のない一色地区の住民にとって、鉄道駅及び西尾市中心部への移動をはじめ、沿線に所在する高等学校や病院への日常的な移動手段で

あります。また、市外からの来訪者にとって、西尾市の主要な観光地である佐久島へのアクセスにおいても欠かせない路線であります。さらに、拠点的な停留所である一色町公民館では、他のバス路線と連絡し、公共交通ネットワークを構築する上で特に重要な役割を担っています。一方で、自治体や事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保維持する必要があります。

六万石くるりんバス、いっちゃんバス、いこまいかー、タクシーの準幹線、支線については、これら交通機関相互及び幹線と接続することにより、市民や利用者が利用しやすいネットワーク形成に寄与します。このため、公共交通機関相互の連携に配慮し、ネットワーク、サービス水準を維持・向上させることを目標とします。

#### (4) 六万石くるりんバス・いっちゃんバスの最低維持基準の設定

四半期ごとに利用状況の公開・分析を行い、軽微な改善については適宜実施します。

最低維持基準を設定し、原則2年連続でクリアできない場合や沿線地域で利用促進の取り組みが行われない場合は、減便やデマンド化等の縮小を検討します。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響がある年度は評価期間から除外するなど、社会状況による影響を考慮します。

##### 【最低維持基準】

<路線別利用者数>

小型バス路線：1便あたり5人、ジャンボタクシー路線：1便あたり3人

<停留所利用者数>

1日あたり1人未満の利用で、運行ルートの効率化が図れる場合は廃止を検討

##### ■路線別利用状況（令和2年度）

路線		利用者数	1日便数	1便あたり利用者数	参考：最低維持基準
六万石くるりんバス	①市街地線	19,509	12	4.5	5
	①三和線	8,996	8	3.1	5
	②室場線	6,426	8	2.2	5
	③平坂中畑線	54,246	13	11.5	5
	④寺津矢田線	55,948	13	11.9	5
	⑤米津線	4,703	6	2.2	3
	⑥西野町線	4,291	10	1.2	3
	⑦福地線	7,565	7	3.0	3
いっちゃんバス		2,724	7	1.1	3

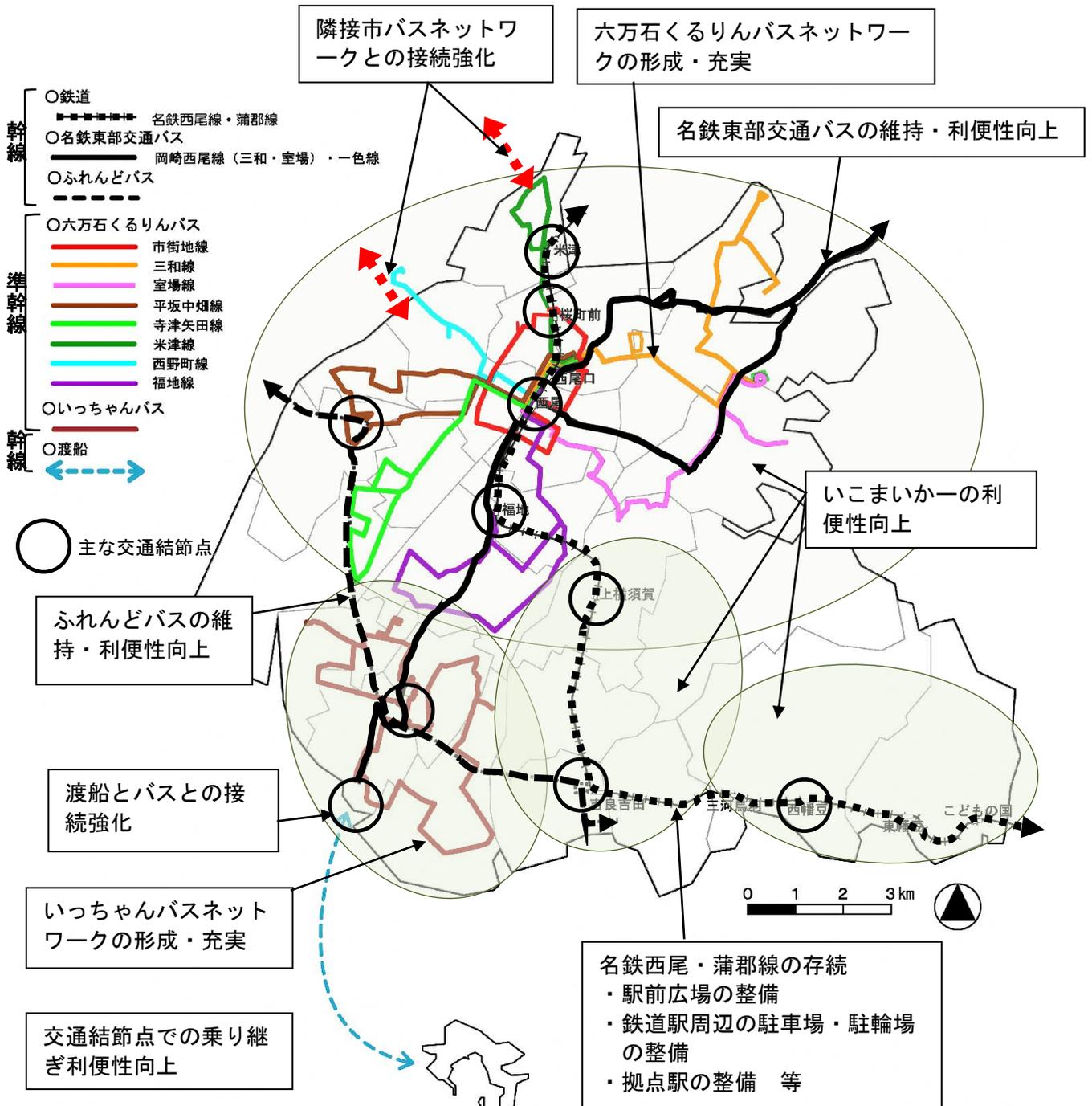
※六万石くるりんバス及びいっちゃんバスは毎日同じ時刻で運行（12/29～1/3は運休）

ただし、平坂中畑線、寺津矢田線は12/31～1/1が運休

資料：西尾市

## (5) 公共交通ネットワークの方向性

現行の公共交通ネットワークを基本に、幹線、準幹線、支線の役割を踏まえて相互の連携強化、サービスの充実等により、市民や観光客等に利用しやすいネットワークを形成します。



※名鉄東部交通バス、ふれんどバスは、地域間幹線系統の補助路線